

グレイ大臣はまた、日本は日本電信電話公社の調達に関する対米合意を非差別的に適用する、との田中大臣の確約を歓迎した。同大臣は、さらに、日本政府は自動車業界に対しカナダへの輸出を自粛させて欲しい、北米および世界市場で売られる日本製自動車にもっとカナダ製部品を使って欲しいと要請した。大臣は、カナダ政府がカナダ製部品の対日輸出を拡大し、日本の自動車メーカーがカナダに工場進出するよう希望していることもつけ加えた。

田中大臣はこれらのカナダ側の要望に理解を示し、日本の自動車業界に対し前向きに対応するよう奨励すると述べた。

両大臣はまた日加資源加工実務委員会の設置を確認した。その第一回会議は二月、東京で開かれた。

### 四月にケベック州議会選挙 オンタリオは保守党が再選

ケベックのレベック州首相は三月十二日、州議会を解散し、四月十三日に選挙を行うと発表した。解散時の議席は、ケベック党六十七、自由党三十四、ウニオン・ナシオナル五、無所属二、欠員二だった。これに新たに五議席が追加される。

四年半前の前回の選挙ではケベック党が圧勝し、昨年五月ケベックの「主権・連合」に関して州民投票を実施したが、州民の支持を得られなかった。

なお、三月十九日に行われたオンタリオ州の州議会選挙は、一九四三年以来与党の座を占めてきた進歩保守党が百二十五議席のうち七十議席（前回は五十八）を得て勝利を収め、デイビス首相が引続き政権を担当することになった。

### 日本でもカーリング熱 東京と北海道でクラブ発足

冬のスポーツとしてカナダで人気の高いカーリングを日本でも普及させよう——と、東京と北海道でカーリング組織が発足した。

「東京カーリング・クラブ」（小松誠会長）は、七九年の冬から新宿の住友ビルにある三角街スケートリンクで練習を重ねてきたカーリング愛好者を中心に、昨年十二



東京でのトーナメントに10チームが参加した。

月に結成され、二月十四日には、東京よみうりランドで十チームによる第一回「カナダ・カップ」トーナメントが開かれた。クラブの事務局は、川崎市多摩区高石二番地 ハイデンス二四号、小林宏氏宅。

北海道では、二月八日、北海道カーリング協会（会長森鼻武芳北海道カーリング協会会長）が誕生した。雪と氷に恵まれた北海道では、すでに一九七七年の冬、池田町がとり入れ、その後カナダから専門コーチのウオーリー・ウースリアック氏を招いて各地で講習会が開かれるなど、カーリングが静かなブームを呼んでいた。恒例の札幌雪まつりでは、全道都市対抗カーリング大会、レディース・カーリング大会が開かれ、年々盛り上がりを見せている。

### 日本各地でカナダ版画展

エッチングから写真を使った実験的な製版法まで、カナダの現代版画を代表する版画家十人の作品が、全国各地で巡回展示されている。

この「現代カナダ版画家十人展」は日本在住のカナダ人版画家カストン・ブチ氏が日本の美術館、カナダの版画家に協力を仰いで実現したもので、すでに千葉県、栃木県、北海道で開催されたほか、次の各地を巡回することになっている。四月一日～五月三日 兵庫県立近代美術館。

五月八日～五月二十一日 広島県立美術館。  
五月二十六日～六月四日 福岡市美術館。  
六月十六日～六月二十八日 神奈川県民ギャラリー。

### 米タイム社などが採用 情報サービスの実験に テリドン

カナダ通信省が開発した双方向テレビ情報システム「テリドン」（本紙第二十六号を参照）は、すでにカナダで教育テレビなどに利用されてその優秀性を証明しているが、今度は米国でもロスアンゼルス、タイムズ・ミラー社と雑誌「タイム」や「フォーチュン」などを発行しているタイム社がそれぞれ情報サービス実験にテリドンを採用することになった。

タイムズ・ミラー社はケーブルテレビ、新聞、雑誌などを所有する世界有数のマスコミ企業。同社では、ロスアンゼルス、オレンジ郡の家庭にテリドン・テレビ端末器を設置し、「ロスアンゼルス・タイムズ」などタイムズ・ミラー系列の報道機関を主な情報源に、今年の十月から大規模なビデオテックス実用実験を行なう、という。

テリドンは利用者が自宅や事務所にいながら、セントラル・データ・ベース（情報ファイル）に情報（文字および模様）を送り、情報を引き出すシステムで、タイムズ・ミラー社では銀行業務、切符

の予約、買物などに関する情報サービスを提供する。

一方、タイム社の計画は、今年末、全国の一般家庭向けに人工衛星を使った多重チャンネル・テレビキーストの実験放送を開始するというもので、世界でも初めての試み。多重チャンネルを使うため、膨大な量と種類の情報が利用できる。

実験は当初、タイム社の子会社で米国の二大ケーブル・テレビ会社のひとつであるアメリカン・テレビジョン・コミュニケーションズ社（ATC）のケーブルを利用する。同社では、タイム社をはじめ、全国紙、地方紙、その他の情報網から得た情報を整理して流すほか、情報広告の可能性についても実験することになっている。

さらにカナダの国際電信電話公社テレグロブ・カナダでは、総額およそ四百万ドルをかけた国際データ・ベース計画にテリドンの使用を決めている。このデータ・ベースは最高十万ページ分の情報量を持ち、双方向ビデオ端末器や通常の通信網を通じて世界中のユーザーの利用に供されることになっている。このプロジェクトは今年の中頃に開始され、三年間続けられる予定。

なお、連邦政府はテリドン・システムの技術と市場性を高め、また産業界に貸出すテリドン端末機約六千台を製造するため、今後二年間に二七五〇万ドルを追加投資することになっている。